

調査レポート

アジア経済概況(2014 年 11・12 月)

【目次】

I. 中華圏・韓国

1. 中国経済の概況…10-12 月期の成長率は+7.3%で前期から横ばい…… p.1
2. 中国の主要指標解説:2014 年の自動車販売台数の伸び率は大幅鈍化…… p.3
3. 台湾経済の概況…10-12 月期の実質 GDP 成長率は+3.3%に鈍化…… p.4
4. 韓国経済の概況…10-12 月期の実質 GDP 成長率は+2.7%に鈍化…… p.5

II. ASEAN・インド

1. タイ経済の概況…10-12 月期の実質 GDP 成長率は+2.3%に持ち直し… p.6
2. インドネシア経済の概況…10-12 月期の成長率は+5.0%に小幅持ち直し p.7
3. マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標…………… p.8
4. ベトナム経済の概況…10-12 月期の成長率は+7.0%に加速…………… p.9
5. インド経済の概況…10-12 月期の実質 GDP 成長率は+7.5%に鈍化…… p.10

III. アジア通貨・株価動向 …………… p.11

三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社

調査部 研究員 野田 麻里子

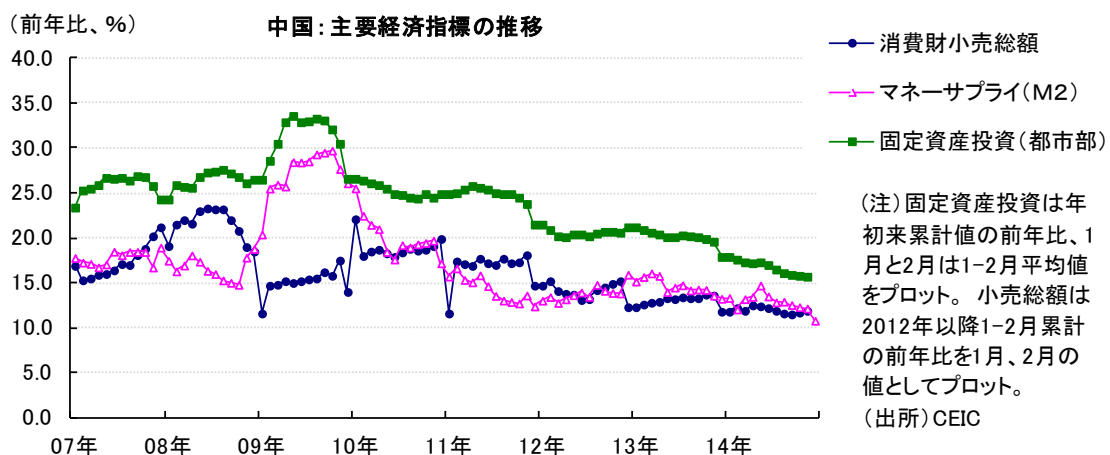
〒105-8501 東京都港区虎ノ門 5-11-2

TEL:03-6733-1070

I. 中華圏・韓国

1. 中国経済の概況

- ・景気の回復ペースは緩やかなものにとどまっている。
- ・10-12 月期の実質 GDP 成長率は前年比+7.3%と前期から横ばいであった。前期比では+1.5%（年率換算で+6.1%）と前期（同+1.9%、年率換算で+7.8%）に比べて鈍化した。2014 年通年の実質 GDP 成長率は前年比+7.4%と 2013 年の同+7.7%から鈍化したものの、同+7.5%前後という政府の目標圏内の水準だった。
- ・成長鈍化の主因は投資の伸び鈍化にあるとみられる。統計局は 2014 年については消費の寄与度のみを発表しているが、それによれば、+7.4%成長のうち+3.8%が消費の寄与度とされており、計算上、残り+3.6%が投資と純輸出の寄与度となる。2013 年の消費の成長率寄与度は+3.9%であり、消費の寄与度はほぼ横ばいである。一方、貿易黒字が拡大している状況から純輸出の寄与度が 2013 年のマイナス（-0.3%）からプラスに転じた可能性が高いと考えられる。結果として、投資の寄与度は 2013 年の+4.2%から+3.6%以下に大幅に低下した可能性が高く、これが成長率鈍化につながったとみられる。
- ・1 月の製造業購買担当者指数（PMI）は 49.8 と 2012 年 9 月以来 2 年 4 カ月ぶりに景気の拡大と縮小の分岐点である 50 を下回った。景気の回復テンポが一段と緩やかになっている可能性が示唆されている。
- ・中国人民銀行（中銀）は 2 月 4 日、預金準備率の引き下げ（0.5%ポイント）を発表した。資金需要が高まる春節休暇を前に流動性を確保しやすいよう配慮したとみられる。
- ・昨年 12 月に開催された中央経済工作会议では、中国経済は高速成長から中高速成長への転換、粗放型成長から集約型成長への転換などの過程（「新常态」）にあるとの認識が示された。その上で 2015 年はこれに適応しつつ、安定成長を維持し、構造調整に取り組む年と位置付けられた。



【中国・香港の主要経済指標】

			2012年	2013年	2014年	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/3Q	14/4Q	14/10月	14/11月	14/12月	15/1月
中国	GDP	実質GDP成長率	前期比%			1.8	1.6	1.9	1.9	1.5				
		(累計ベース)	前年比%			7.6	7.4	7.5	7.3	7.3				
			前年比%			7.7	7.4	7.4	7.4	7.4				
	消費	名目GDP成長率(累計ベース)	前年比%	12.9	10.1	8.2	10.1	7.9	8.5	8.5	8.2			
		消費財小売総額	前年比%	14.2	13.2	12.0	13.5	12.2	12.3	11.9	11.7	11.5	11.7	11.9
		うち 都市部	前年比%	14.2	13.0	11.9	13.4	12.1	12.1	11.8	11.6	11.4	11.6	11.8
	消費	うち 農村部	前年比%	14.5	14.8	12.9	14.7	12.9	13.5	12.8	12.4	12.4	12.5	12.4
		自動車販売台数	前年比%	4.3	13.9	6.9	17.4	9.2	7.5	4.2	6.2	2.8	2.3	12.9
		うち乗用車(セダン、SUV他)	前年比%	7.1	15.7	9.9	20.3	10.1	12.3	8.1	9.2	6.4	4.7	16.0
	消費	消費者自信指数	期中平均	102.4	101.2	104.4	101.4	104.0	103.9	104.5	104.9	103.4	105.5	105.8
		消費者期待指数	期中平均	106.9	105.5	107.9	105.7	108.1	107.3	107.8	108.4	107.2	109.0	109.1
	投資	固定資産投資(都市部・500万円以上; 年初来累計)	前年比%	20.6	19.6	15.7	19.6	17.6	17.3	16.1	15.7	15.9	15.8	15.7
		うち不動産・居住用建物	前年比%	22.1	20.3	11.1	20.3	16.3	14.1	12.6	11.1	12.4	12.2	11.1
		うち国内企業	前年比%	21.2	20.5	16.3	20.5	19.0	18.3	16.8	16.3	16.6	16.4	16.3
		うち製造業	前年比%	22.0	18.5	13.5	18.5	15.2	14.8	13.8	13.5	13.5	13.5	13.5
		うち鉄鋼	前年比%	▲ 2.0	▲ 2.1	▲ 5.9	▲ 2.1	▲ 7.5	▲ 8.4	▲ 5.0	▲ 5.9	▲ 6.1	▲ 4.7	▲ 5.9
		うち輸送機械(→自動車)	前年比%	32.8	15.0	8.3	15.0	13.1	12.1	10.2	8.3	10.3	10.2	8.3
		うち電気機械	前年比%	4.8	10.7	12.9	10.7	10.3	16.0	13.9	12.9	13.9	13.3	12.9
		うち情報通信機器	前年比%	12.9	20.2	10.7	20.2	13.3	9.4	8.8	10.7	9.4	9.4	10.7
		直接投資契約件数(累計ベース)	前年比%	▲ 10.1	▲ 8.6	4.4	▲ 8.6	▲ 0.7	3.2	5.5	4.4	5.8	4.2	4.4
		直接投資実行額(累計ベース)	前年比%	▲ 2.3	▲ 2.9	1.7	▲ 2.9	5.5	2.2	▲ 1.4	1.7	▲ 1.2	0.7	1.7
		不動産景気指数	期中平均	95.6	97.3	95.2	96.8	96.7	95.2	94.8	94.3	94.8	94.3	93.9
	貿易 及び 外貨 準備	貿易収支	10億ドル	230.3	259.0	382.5	90.5	16.6	85.9	128.1	149.5	45.4	54.5	49.6
		輸出(ドルベース)	前年比%	7.9	7.8	6.1	7.4	▲ 3.5	4.9	12.9	8.5	11.6	4.7	9.5
		輸入(ドルベース)	前年比%	4.3	7.2	0.5	7.2	2.0	1.3	1.2	▲ 1.6	4.6	▲ 6.7	▲ 2.3
		対米貿易収支	10億ドル	218.9	216.1	237.0	63.1	38.7	58.7	69.6	70.0	26.3	23.1	20.7
		対日貿易収支	10億ドル	▲ 26.2	▲ 12.1	▲ 13.6	▲ 1.5	▲ 0.1	▲ 4.2	▲ 5.8	▲ 3.3	▲ 1.1	0.2	▲ 2.4
	生産	外貨準備	期末10億ドル	3311.6	3821.3	3843.0	3821.3	3948.1	3993.2	3887.7	3843.0	3852.9	3847.4	3843.0
		鉱工業付加価値額(累計ベース)	前年比%	10.0	9.7	8.3	9.7	8.7	8.8	8.5	8.3	8.4	8.3	8.3
		うち国有企業	前年比%	6.4	6.9	4.9	6.9	4.5	5.5	5.2	4.9	5.2	5.0	4.9
		うち株式企業	前年比%	11.8	11.0	9.7	11.0	10.0	10.2	9.9	9.7	9.8	9.7	9.7
		うち外商・港台企業	前年比%	6.3	8.3	6.3	8.3	7.8	7.4	6.7	6.3	6.6	6.4	6.3
		発電量	前年比%	4.2	8.3	5.1	10.1	7.8	7.3	3.2	2.7	3.3	2.2	2.6
		製造業購買担当者指数(PMI)	%	50.8	50.8	50.7	51.3	50.3	50.7	51.3	50.4	50.8	50.3	50.1
		うち新規受注	%	50.9	51.7	51.6	52.3	50.7	52.1	52.8	51.0	51.6	50.9	50.4
		うち雇用	%	49.4	48.9	48.3	49.2	48.2	48.4	48.2	48.2	48.4	48.2	48.1
		新規輸出受注	%	49.3	49.4	49.6	50.3	49.2	49.6	50.3	49.1	49.9	48.4	49.1
	所得 雇用	都市一人当り所得(累計ベース)	前年比%	12.6	7.7	9.0	7.7	9.8	9.6	9.3	9.0			
		労働力市場求人倍率	期末	1.08	1.10	1.15	1.10	1.11	1.11	1.09	1.15			
		第二次産業/全産業求人比率	期末%	40.8	40.3		40.3	44.2						
	物価	消費者物価指数	前年比%	2.7	2.6	2.0	2.9	2.3	2.2	2.0	1.5	1.6	1.4	1.5
		うち食品	前年比%	4.9	4.7	3.1	5.5	3.5	3.4	3.0	2.6	2.5	2.3	2.9
		うち家庭設備・家庭用品	前年比%	1.9	1.5	1.2	1.4	1.3	1.2	1.1	1.2	1.2	1.2	1.1
		生産者物価指数	前年比%	▲ 1.7	▲ 1.9	▲ 1.9	▲ 1.4	▲ 2.0	▲ 1.5	▲ 1.3	▲ 2.8	▲ 2.2	▲ 2.7	▲ 3.3
	金融	マネーサプライ(M2)	前年比%	13.8	13.6	12.2	13.6	12.1	14.7	12.9	12.2	12.6	12.3	12.2
		インターバンク金利(翌日物)	期中平均%	2.80	3.30	2.74	3.74	2.72	2.55	3.00	2.69	2.52	2.59	2.97
		株価指数(上海総合)	期末	2,269	2,116	3,235	2,116	2,033	2,048	2,364	3,235	2,420	2,683	3,235
		為替レート(元/ドル)	期中平均	6.31	6.20	6.14	6.13	6.12	6.16	6.16	6.14	6.14	6.14	6.12
		為替レート(円/元)	期中平均	12.6	15.8	17.2	16.4	16.8	16.5	16.9	18.6	17.5	18.9	19.4
香港	GDP	実質GDP成長率	前年比%	1.5	2.9		2.9	2.6	1.8	2.7				
		うち民間消費	前年比%	4.1	4.3		3.6	1.6	1.2	3.2				
		うち固定資本形成	前年比%	6.8	3.3		5.3	3.5	▲ 5.7	▲ 4.7				
	消費	名目GDP成長率	前年比%	5.3	4.3		4.4	4.8	5.5	5.3				
		小売販売数量指数	前年比%	7.1	10.8	0.4	7.0	2.7	▲ 8.4	3.6	4.1	6.8	7.0	▲ 1.3
	貿易	貿易収支	10億HKドル	▲ 478	▲ 503	▲ 550	▲ 137	▲ 124	▲ 141	▲ 124	▲ 161	▲ 50	▲ 52	▲ 59
		輸出(香港ドルベース)	前年比%	2.9	3.6	3.2	4.8	0.7	4.8	5.9	1.2	2.7	0.4	0.6
		輸入(香港ドルベース)	前年比%	3.9	3.8	3.9	4.4	2.1	4.6	5.7	3.3	5.6	2.4	1.9
	物価	消費者物価指数	前年比%	4.1	4.3	4.4	4.3	4.2	3.6	4.8	5.1	5.2	5.1	4.8
	金融	マネーサプライ(M3)	期末%	10.3	11.7	12.6	12.5	11.6	13.4	14.5	11.0	12.2	11.2	9.6
		ハンセン指数	期末ポイント	22,657	23,306	23,605	23,306	22,151	23,191	22,933	23,605	23,998	23,987	23,605

(出所) CEIC (注) 固定資産投資統計の対象基準は2011年以降投資計画額500万円から500万円に変更。

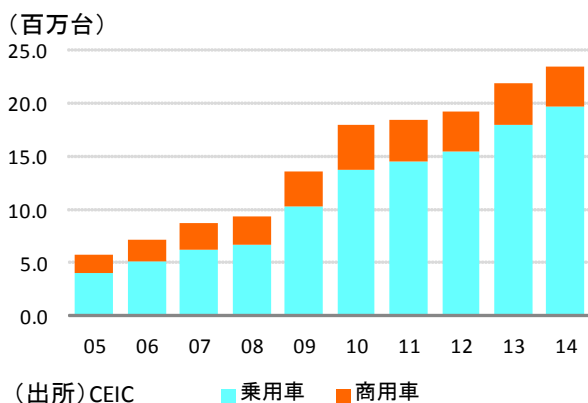
2. 中国の主要指標解説：2014 年の自動車販売台数の伸び率は大幅鈍化

中国自動車工業協会によれば、2014 年の自動車販売台数は 2349 万台と過去最高であった（図表 1）。ただし、伸び率は前年比+6.9%と 2013 年の同+13.9%から大幅に鈍化した。用途別の内訳をみると、乗用車の販売台数は 1970 万台と過去最高を更新したものの、伸び率は前年比+9.9%と前年の同+15.7%から鈍化した。一方、貨物車やバスなどの商用車の販売台数は 379 万台にとどまり、前年比-6.5%と大幅に減少した（図表 2）。自動車販売の伸び率鈍化の背景には、リーマン・ショック後に導入された購入支援策終了後の反動、足元の経済成長率の鈍化に加えて、環境対策として一部の地方政府が導入している自動車購入制限策、商用車の需要増につながる大規模インフラ投資の不在など複数の要因があるとみられる。

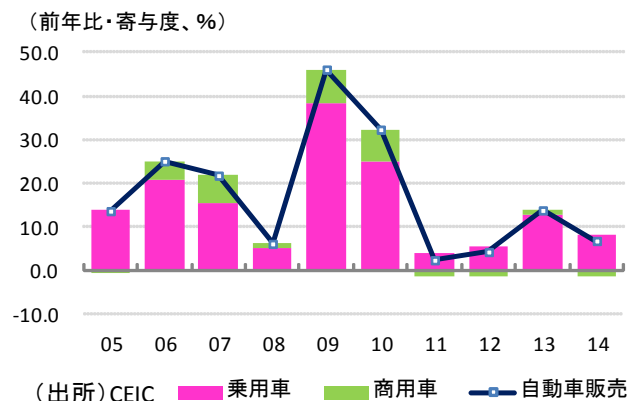
政府が普及に力を入れている新エネルギー車の販売台数は 74,763 台と前年の 4.2 倍に拡大した（図表 3）。他方、乗用車販売における国別のシェアは、中国ブランドが 38.4%と依然として断トツながら、その水準は徐々に低下している（図表 4）。外国ブランドでは、シェア・トップのドイツのシェアが 20.0%と前年の 18.8%から 1.2%ポイント拡大した。米国（12.4%⇒12.8%）、韓国（8.8%⇒9.0%）、フランス（3.1%⇒3.7%）もシェアを拡大しているが、日本ブランドはドイツに次ぐ第 2 位のシェアを維持しているものの、15.7%と前年の 16.3%から縮小した。

2015 年 1 月の自動車販売は乗用車販売が前年比+10.4%と堅調だったことから同+7.6%と 14 年実績を上回った。ブランド別にはドイツのシェアが 21.5%に拡大する一方、日本のシェアは 13.6%に縮小した。自動車工業協会は 2015 年の販売伸び率を前年比+7.0%と予測している。

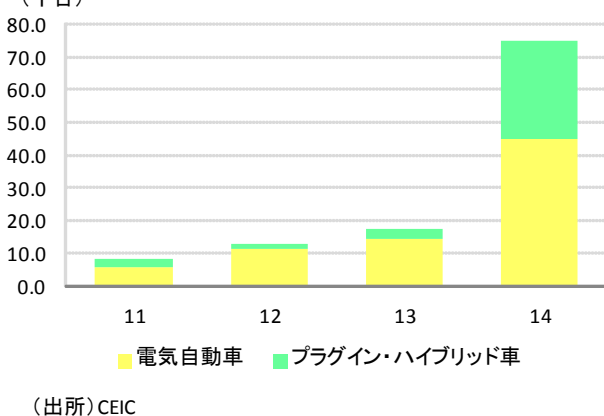
図表 1. 中国の自動車販売台数の推移



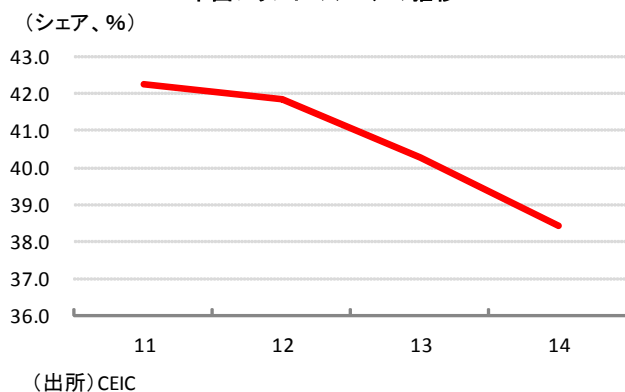
図表 2. 用途別にみた自動車販売の推移



図表 3. 新エネルギー車の販売台数の推移

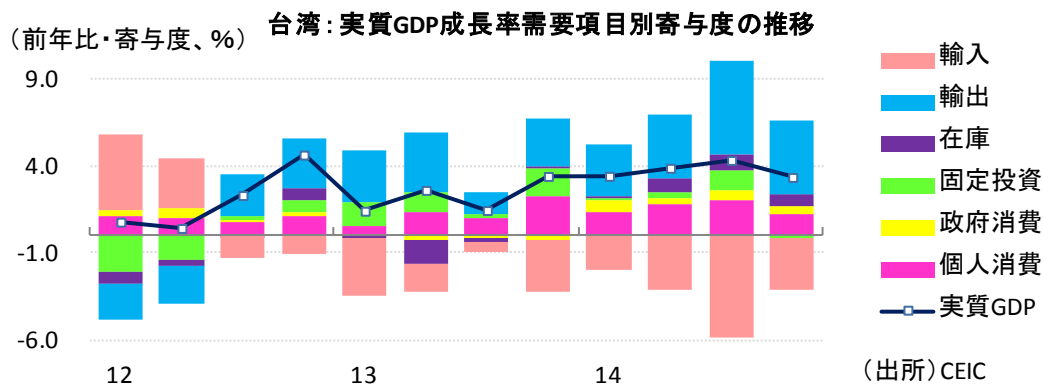


図表 4. 乗用車販売に占める中国ブランドのシェアの推移



3. 台湾経済の概況

- ・内外需の持ち直しから景気は緩やかな回復基調にある。10-12 月期の実質 GDP 成長率は前年比+3.3%と前期（同+4.3%）から 1.0%ポイント鈍化した。粗悪な食用油が販売されていた問題に端を発する食の安全に対する懸念が個人消費の押し下げ要因となった。また投資は比較対象となる前年の水準が高かったことから前年比-0.4%と伸び率が大きく鈍化した。一方、輸出は原油価格の下落の影響から鉱物製品、化学品などの輸出が前年比減少したものの、電子製品を中心とする機械類の輸出は堅調に推移している。内需の減速から輸入の伸びが鈍化しており、純輸出（輸出-輸入）の成長率寄与度は 7-9 月期のマイナス（-0.3%）から再びプラス（+1.1%）に転じた。2014 年通年の成長率は+3.7%と 3 年ぶりに 3%台に持ち直した。
- ・12 月の景気対策指数は前月から 3 ポイント低下し 22 ポイントとなった。この結果、景気対策信号は 10 カ月続いた「安定」を示す「緑」から「安定と停滞の中間」を示す「黄青」に変わった。しかし、先進国景気の回復が続く中で台湾経済も緩やかな回復基調を維持するだろう、と国家発展委員会ではみている。



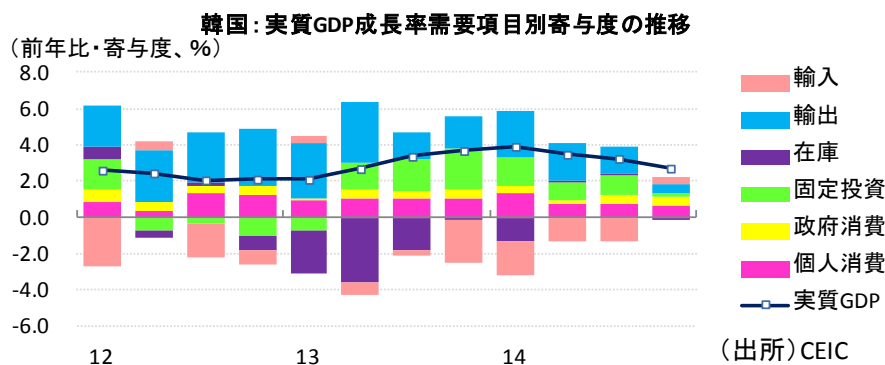
【台湾の主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/3Q	14/4Q	14/10月	14/11月	14/12月	15/1月
GDP (yoy)	実質GDP（前期比） （前年比）	2.1	2.2	3.7	1.8 3.4	0.3 3.4	0.9 3.9	1.1 4.3	1.2 3.3				
	うち個人消費	1.8	2.4	3.0	4.3	2.4	3.3	3.8	2.4				
	うち総固定資本形成 （うち民間企業）	▲ 2.6 ▲ 0.3	5.0 6.7	1.7 3.4	7.5 8.8	0.9 1.4	1.6 4.3	4.8 6.3	▲ 0.4 1.3				
	生産	▲ 0.2	0.7	6.4	2.0	3.0	6.7	7.7	7.9	9.2	6.8	7.8	
消費	卸小売販売指数 (yoy)	▲ 0.1	2.6	2.6	3.6	1.9	3.3	2.0	3.2	1.8	2.4	5.3	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支 (10億ドル)	30.7	35.5	39.6	10.7	6.5	9.7	10.2	13.2	4.6	4.2	4.4	4.8
	輸出 (yoy)	▲ 2.3	1.4	2.7	1.8	1.0	2.9	6.7	0.5	0.6	3.6	▲ 2.8	3.4
	輸出受注 (yoy)	1.1	0.4	6.7	3.8	2.7	8.0	8.0	7.9	13.4	6.0	4.5	
	輸入 (yoy)	▲ 3.9	▲ 0.2	1.6	2.1	▲ 1.6	3.8	7.7	▲ 3.2	▲ 1.4	5.0	▲ 12.3	▲ 4.8
	経常収支 (10億ドル)	50.7	57.4		17.2	15.5	16.5	15.8					
	外貨準備高 (10億ドル)	403	417	419	417	419	423	421	419	421	421	419	416
雇用	失業率（季調値）	4.2	4.2	4.0	4.2	4.1	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	
物価	消費者物価 (yoy)	1.9	0.8	1.2	0.6	0.8	1.6	1.5	0.8	1.1	0.9	0.6	▲ 0.9
金融	M2 (M2, yoy)	3.5	5.8	6.1	5.8	5.9	5.4	5.0	6.1	4.9	5.7	6.1	
	株価指数（加権指数）	7,700	8,612	9,307	8,612	8,849	9,393	8,967	9,307	8,975	9,187	9,307	9,362
	短期金利（オーバーナイト）	0.42	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39
	為替レート（NTドル/ドル）	29.6	29.8	30.4	29.6	30.4	30.2	30.1	30.9	30.4	30.8	31.5	31.7
	為替レート（円/NTドル）	2.69	3.28	3.49	3.39	3.38	3.38	3.46	3.71	3.55	3.78	3.79	3.73

（出所）CEIC （注）yoy=前年比（%）、貿易統計は再輸出と再輸入を加算した新ベース。

4. 韓国経済の概況

- ・一部に持ち直しの兆しがみえるものの、景気は依然として低迷基調で推移している。
- ・10-12月期の実質GDP成長率は前年比+2.7%と前期（同+3.2%）から0.5%ポイント鈍化した。投資（7-9月期前年比+3.6%⇒10-12月期同+0.9%）と輸出（同+2.5%⇒同+0.8%）の鈍化が主因である。税収不足からインフラ投資が縮小したことが投資鈍化の一因となっている。また輸出の約4分の1を占める最大の輸出市場である中国の景気減速が輸出の低迷につながっている。ただし、内需の低迷から輸入が前年比-0.8%と減少したため、純輸出（輸出-輸入）の成長率寄与度は前期の+0.1%から+0.8%に拡大した。2014年通年の成長率は前年比+3.3%と前年（同+3.0%）を上回ったものの、+3.5%程度とみられている潜在成長率を依然、下回っている。
- ・2015年の成長率見通しについて韓国中銀は個人消費の持ち直しが、消費者心理の回復の遅れや家計債務の増加の影響から緩やかなものにとどまる一方、輸出の持ち直しも緩やかなものにとどまるとして、昨年10月時点の同+3.9%から同+3.4%に引き下げた。2月17日の金融通貨委員会は当面、様子見として4カ月連続となる政策金利の据え置き（2.00%）を決めた。



【韓国の主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/3Q	14/4Q	14/10月	14/11月	14/12月	15/1月
GDP (yoy)	実質GDP (前期比)				0.9	0.9	0.5	0.9	0.4				
	(前年比)	2.3	3.0	3.3	3.7	3.9	3.5	3.2	2.7				
	うち個人消費	1.9	2.0	1.7	2.2	2.5	1.5	1.5	1.4				
	うち固定資本形成	▲ 0.5	4.2	3.3	7.8	5.9	3.4	3.6	0.9				
	うち設備	0.1	▲ 1.5	5.9	10.9	7.3	7.7	4.3	4.2				
生産	鉱工業生産 (yoy)	1.4	0.3	▲ 0.1	1.7	0.7	0.3	1.1	▲ 2.1	▲ 3.1	▲ 3.6	0.4	
消費	小売売上高 (数量, yoy)	2.4	0.8	1.6	1.2	2.5	0.8	1.4	1.8	▲ 0.1	1.0	4.5	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支 (10億ドル)	28.3	44.0	47.2	13.3	5.2	14.7	8.9	18.3	7.5	5.3	5.6	5.4
	輸出 (yoy)	▲ 1.3	2.1	2.3	4.7	1.6	3.2	3.6	0.9	2.3	▲ 2.7	3.1	▲ 0.7
	輸入 (yoy)	▲ 0.9	▲ 0.8	1.9	2.5	2.0	3.3	5.4	▲ 2.8	▲ 3.3	▲ 4.1	▲ 1.0	▲ 11.0
	経常収支 (10億ドル)	50.8	81.1	89.4	23.9	15.2	24.2	22.6	27.4	8.9	11.3	7.2	
	外貨準備高 (10億ドル)	327	346	364	346	354	367	364	364	364	363	364	362
雇用	失業率 (季調値)	3.2	3.1	3.5	3.0	3.5	3.7	3.5	3.5	3.5	3.4	3.5	3.4
物価	消費者物価 (yoy)	2.2	1.3	1.3	1.1	1.1	1.6	1.4	1.0	1.2	1.0	0.8	0.8
金融	マネーサプライ (New M2, yoy)	4.8	4.6	8.1	4.6	5.0	5.7	7.2	8.1	8.2	8.5	8.1	
	株価指数 (総合)	1,997	2,011	1,916	2,011	1,986	2,002	2,020	1,916	1,964	1,981	1,916	1,949
	CDレート (3カ月物)	3.30	2.72	2.49	2.65	2.65	2.65	2.51	2.16	2.22	2.14	2.13	2.13
	為替レート (ウォン/ドル)	1,127	1,095	1,053	1,062	1,069	1,030	1,026	1,087	1,060	1,095	1,104	1,089
	為替レート (円/100ウォン)	7.1	8.9	10.1	9.6	9.6	10.0	10.2	10.6	10.4	10.7	10.9	10.9

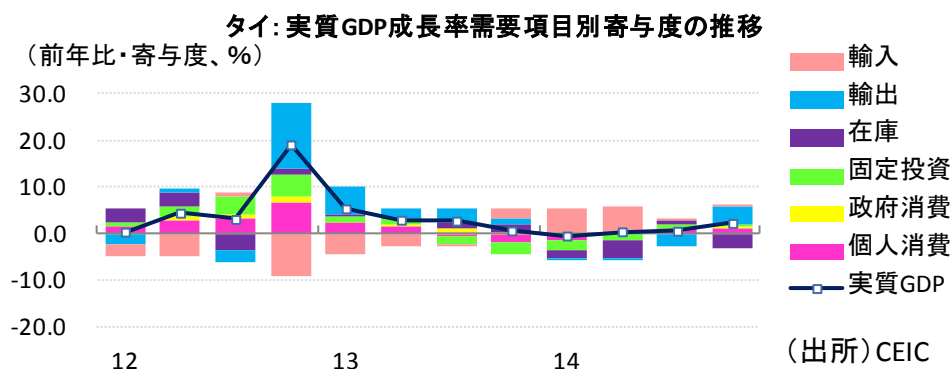
(出所) CEIC

(注) yoy=前年比 (%)

II. ASEAN・インド

1. タイ経済の概況

- ・景気の回復テンポは緩やかなものにとどまっている。
- ・10-12月期の実質GDP成長率は前年比+2.3%と前期（同+0.6%）から大幅に持ち直した。牽引役は前年比+4.9%と前期（同-3.8%）から一転増加に転じた輸出で、米国向けを中心に持ち直し基調にある。一方、個人消費は家計の債務負担水準が高いままであること、一次産品価格の下落により農家所得が減少していること、などから弱含みで推移している。また設備投資も内外需の回復テンポが緩やかなものにとどまる中、企業が様子見姿勢を続けていることから低迷している。この結果、2014年通年の実質GDP成長率は前年比+0.7%と前年（同+2.9%）を大幅に下回る水準にとどまった。2015年は輸出の回復などから+4%前後の成長が見込まれている。
- ・原油価格の大幅な下落は物価の安定と経常収支の黒字拡大に寄与している。タイ中銀の金融政策委員会は1月28日、賛成（据え置き）5票対反対（0.25%ポイントの利下げ）2票の表決で7会合連続となる政策金利の据え置き（2.00%）を決めた。



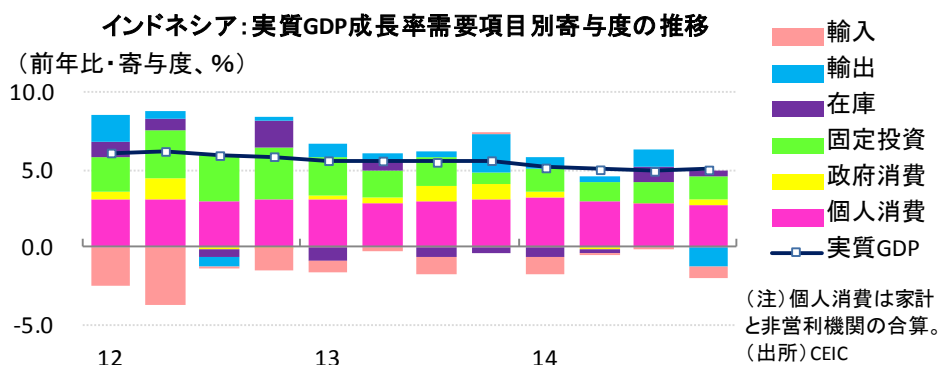
【タイの主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/3Q	14/4Q	14/10月	14/11月	14/12月	15/1月
GDP (yoy)	実質GDP	6.5	2.9	0.7	0.6	▲ 0.5	0.4	0.6	2.3				
	個人消費	6.7	0.3	0.3	▲ 4.1	▲ 3.0	0.2	2.2	1.9				
	総固定資本形成	13.2	▲ 2.0	▲ 2.8	▲ 11.4	▲ 9.3	▲ 6.9	2.9	3.2				
生産	製造業生産指数 (yoy)	2.2	▲ 3.2	▲ 4.6	▲ 7.1	▲ 7.0	▲ 4.8	▲ 3.9	▲ 2.4	▲ 3.0	▲ 3.7	▲ 0.3	
消費	個人消費指数 (yoy)	5.6	0.3	▲ 0.6	▲ 0.9	▲ 1.6	▲ 0.8	0.2	▲ 0.0	▲ 0.3	0.7	▲ 0.6	
投資	民間企業投資指数 (yoy)	15.1	▲ 0.4	▲ 3.8	▲ 7.0	▲ 7.2	▲ 3.4	▲ 4.4	▲ 0.2	▲ 2.3	0.6	1.2	
輸出入 BOP ^ペ ス	貿易収支 (10億 ^{ドル})	6.0	6.7	24.6	3.8	6.3	5.9	4.8	7.6	2.1	1.9	3.6	
	輸出 (yoy)	3.1	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.9	▲ 1.1	0.3	▲ 1.7	1.5	4.1	▲ 1.8	2.3	
	輸入 (yoy)	8.8	▲ 0.5	▲ 8.5	▲ 7.5	▲ 14.7	▲ 11.8	▲ 0.8	▲ 5.7	▲ 5.2	▲ 4.2	▲ 7.9	
国際収支	経常収支 (10億 ^{ドル})	▲ 1.5	▲ 2.5	14.2	2.9	5.5	▲ 0.6	▲ 0.5	9.8	2.6	1.7	5.5	
	外貨準備高 (10億 ^{ドル})	171.1	159.0	149.1	159.0	158.8	159.3	153.3	149.1	152.6	150.6	149.1	
雇用	失業率 (季調前)	0.7	0.7	0.8	0.6	0.9	1.0	0.8	0.6	0.8	0.5	0.6	1.1
物価	消費者物価 (総合, yoy)	3.0	2.2	1.9	1.7	2.0	2.5	2.0	1.1	1.5	1.3	0.6	▲ 0.4
	消費者物価 (コア, yoy)	2.1	1.0	1.6	0.8	1.2	1.7	1.8	1.7	1.7	1.6	1.7	1.6
金融	マネーサプライ (broad M, yoy)	10.4	7.3	4.7	7.3	6.4	4.4	4.0	4.7	4.4	4.6	4.7	
	株価指数 (SET)	1,392	1,299	1,498	1,299	1,376	1,486	1,586	1,498	1,584	1,594	1,498	1,581
	インバンス金利 (3M)	3.08	2.69	2.22	2.52	2.34	2.18	2.18	2.18	2.18	2.18	2.18	2.17
	為替レート (バツ/\$)	31.1	30.7	32.5	31.7	32.7	32.5	32.1	32.7	32.4	32.8	32.9	32.7
	為替レート (円/バツ)	2.57	3.17	3.25	3.16	3.15	3.15	3.24	3.49	3.33	3.54	3.63	3.61

(出所) CEIC (注) yoy=前年比 (%)

2. インドネシア経済の概況

- ・景気の拡大テンポは緩やかなものにとどまっている。
- ・10-12月期の実質GDP成長率は前年比+5.0%と前期（同+4.9%）に比べて0.1%ポイント持ち直した。個人消費は堅調に推移し、投資も14年10月のジョコウィ新政権誕生で政治の先行き不透明感が払拭されたことから持ち直したものの、輸出の伸び率は13年末に14年1月からの未加工鉱物禁輸措置実施前の駆け込み輸出があった反動から、大幅に鈍化した。この結果、2014年通年の実質GDP成長率は前年比+5.0%と13年の同+5.6%から鈍化した。インドネシアの成長率は2010年（同+6.4%）をピークに鈍化が続いており、2014年の+5.0%成長は2009年（同+4.7%）以来の低い水準である。
- ・2月13日、燃料補助金を削減し、その分をインフラ投資に充当する方針を盛り込んだ補正予算が国会で可決、成立した。補正予算の前提となる2015年の実質GDP成長率は前年比+5.7%（当初の+5.8%から下方修正）とされている。
- ・2月17日、インドネシア中銀は2012年2月以来3年ぶりとなる利下げ（7.75%⇒7.50%）を決めた。インフレ圧力が弱い中で景気を下支える狙いがあるとみられる。



【インドネシアの主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/3Q	14/4Q	14/10月	14/11月	14/12月	15/1月
GDP (yoy)	実質GDP	6.0	5.6	5.0	5.6	5.1	5.0	4.9	5.0				
	個人消費	5.5	5.4	5.1	5.4	5.4	5.1	5.1	5.0				
	総固定資本形成	9.1	5.3	4.1	2.1	4.7	3.7	3.9	4.3				
生産	製造業生産(yoy)	4.1	6.0	4.7	1.5	3.5	4.2	5.8	5.4	5.5	5.7	5.2	
消費	小売売上(yoy)	14.5	12.9	14.5	19.7	19.9	13.0	15.3	10.7	17.7	11.5	4.3	12.5
輸出入	貿易収支(10億ドル)	▲ 1.7	▲ 4.1	▲ 1.9	2.3	1.1	▲ 2.2	▲ 0.5	▲ 0.2	0.0	▲ 0.4	0.2	0.7
	輸出(yoy)	▲ 6.6	▲ 3.9	▲ 3.4	3.3	▲ 2.5	▲ 2.5	2.3	▲ 10.3	▲ 2.2	▲ 14.6	▲ 13.8	▲ 8.1
	(除く石油ガス, yoy)	▲ 5.5	▲ 2.0	▲ 2.6	2.6	▲ 2.3	▲ 2.0	2.0	▲ 7.7	▲ 0.8	▲ 12.6	▲ 9.5	▲ 6.2
	輸入(yoy)	8.0	▲ 2.6	▲ 4.5	▲ 6.9	▲ 5.3	▲ 4.2	▲ 3.3	▲ 5.3	▲ 2.2	▲ 7.3	▲ 6.6	▲ 15.6
国際収支	経常収支(10億ドル)	▲ 24.4	▲ 29.1	▲ 26.2	▲ 4.3	▲ 4.1	▲ 8.9	▲ 7.0	▲ 6.2				
	外貨準備高(10億ドル)	105.3	92.9	105.5	92.9	95.8	100.9	104.7	105.5	105.6	104.8	105.5	107.8
物価	消費者物価(yoy)	4.0	6.4	6.4	8.0	7.8	7.1	4.4	6.5	4.8	6.2	8.4	7.0
金融	マネーサプライ(M2, yoy)	15.0	12.8	11.8	12.8	10.2	13.3	11.9	11.8	12.5	12.7	11.8	
	株価指数(総合)	4,317	4,274	5,227	4,274	4,768	4,879	5,138	5,227	5,090	5,150	5,227	5,289
	中銀債金利(3ヵ月)	5.75	7.50	7.75	7.50	7.50	7.50	7.50	7.75	7.50	7.75	7.75	7.75
	為替レート(円/100ルピア)	9,419	10,563	11,885	11,800	11,755	11,704	11,840	12,239	12,082	12,196	12,440	12,625
	為替レート(円/100ルピア)	0.85	0.93	0.89	0.86	0.87	0.87	0.89	0.94	0.91	0.97	0.96	0.93

(出所) CEIC (注) yoy=前年比(%)

3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標

【マレーシアの主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/3Q	14/4Q	14/10月	14/11月	14/12月	15/1月
GDP (yoy)	実質 GDP	5.6	4.7	6.0	5.1	6.2	6.5	5.6	5.8				
	個人消費	8.2	7.2	7.1	7.4	7.1	6.5	6.7	7.8				
	総固定資本形成	19.2	8.5	4.7	6.5	6.3	7.2	1.1	4.3				
生産	鉱工業生産 (yoy)	4.2	3.4	5.1	2.9	4.7	5.8	4.1	5.8	5.2	4.8	7.4	
消費	自動車販売台数 (yoy)	4.6	4.5	1.6	▲ 0.9	1.4	11.2	▲ 8.8	3.8	▲ 1.6	5.9	6.9	0.7
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	31.1	22.6	25.4	8.8	8.0	5.7	5.3	6.4	0.4	3.3	2.6	
	輸出 (yoy)	▲ 0.3	0.4	2.4	5.2	3.5	8.6	3.0	▲ 4.1	▲ 5.9	▲ 2.3	▲ 4.1	
	輸入 (yoy)	4.8	4.8	1.4	6.1	▲ 1.4	3.1	4.2	▲ 0.2	6.1	▲ 4.1	▲ 2.7	
国際収支	経常収支 (10億ドル)	17.6	12.7	15.1	4.6	6.0	4.9	2.4	1.8				
	外貨準備高 (10億ドル)	126	122	107	122	118	120	117	107	118	115	107	101
雇用	失業率 (%)	3.0	3.1		3.2	3.2	2.9	2.7		2.7	2.7		
物価	消費者物価 (yoy)	1.7	2.1	3.1	3.0	3.5	3.3	3.0	2.8	2.8	3.0	2.7	1.0
金融	マネーサプライ (M2, yoy)	9.7	8.4	7.5	8.4	6.3	5.7	5.4	7.5	5.7	7.7	7.5	
	株価指数 (総合)	1,689	1,867	1,761	1,867	1,849	1,883	1,846	1,761	1,855	1,821	1,761	1,781
	インターバンク金利 (1M, %)	3.06	3.07	3.21	3.07	3.07	3.08	3.30	3.37	3.33	3.37	3.43	
	為替レート (リンギ/ドル)	3.09	3.15	3.27	3.21	3.30	3.23	3.19	3.36	3.27	3.34	3.48	3.58
	為替レート (円/リンギ)	25.8	30.9	32.3	31.3	31.2	31.6	32.5	34.0	33.0	34.7	34.3	33.0

(出所) CEIC (注) yoy=前年比 (%)、鉱工業生産は2013年以降2010年基準。

【フィリピンの主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/3Q	14/4Q	14/10月	14/11月	14/12月	15/1月
GDP (yoy)	実質 GDP	6.8	7.2	6.1	6.3	5.6	6.4	5.3	6.9				
	個人消費	6.6	5.7	5.4	5.9	5.9	5.7	5.0	5.1				
	固定資本形成	10.8	11.9	8.6	8.0	11.0	4.5	10.5	8.1				
生産	鉱工業生産 (yoy)	7.0	5.4	6.3	15.0	2.8	10.8	5.4	6.2	7.5	7.1	4.2	
消費	自動車販売台数 (yoy)	10.6	15.7	29.5	10.7	22.9	26.8	37.6	30.3	32.6	34.6	24.1	19.3
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	▲ 10.0	▲ 5.7		▲ 1.6	▲ 1.9	0.3	0.0		▲ 0.2	▲ 0.2		
	輸出 (yoy)	7.9	8.8	9.0	19.3	6.9	9.7	12.9	6.3	2.5	21.7	▲ 3.2	
	輸入 (yoy)	2.7	0.5		0.6	12.4	▲ 0.5	▲ 0.1		10.3	▲ 1.7		
国際収支	経常収支 (10億ドル)	6.9	10.4		3.4	0.8	3.0	3.0					
	外貨準備高 (10億ドル)	83.8	83.2	79.5	83.2	79.6	80.7	79.5	79.5	79.4	78.7	79.5	80.7
雇用	失業率 (%)	7.2	7.2	7.0	6.4	7.5	7.0	6.7	6.0				
物価	消費者物価 (yoy)	3.2	2.9	4.2	3.5	4.1	4.4	4.7	3.6	4.3	3.7	2.7	2.4
金融	マネーサプライ (yoy)	9.4	31.8	9.6	31.8	35.3	23.5	16.2	9.6	15.4	9.2	9.6	
	株価指数 (総合)	5,813	5,890	7,231	5,890	6,429	6,844	7,283	7,231	7,216	7,294	7,231	7,690
	国債 (3ヵ月, % 期末)	0.20	0.00	1.42	0.00	1.00	1.04	1.244	1.416	1.144	1.298	1.416	
	為替レート (ペソ/ドル)	42.2	42.4	44.4	43.6	44.9	44.1	43.8	44.8	44.8	45.0	44.7	44.6
	為替レート (円/ペソ)	1.89	2.30	2.38	2.30	2.29	2.32	2.37	2.55	2.41	2.58	2.66	2.66

(出所) CEIC (注) yoy=前年比 (%)。

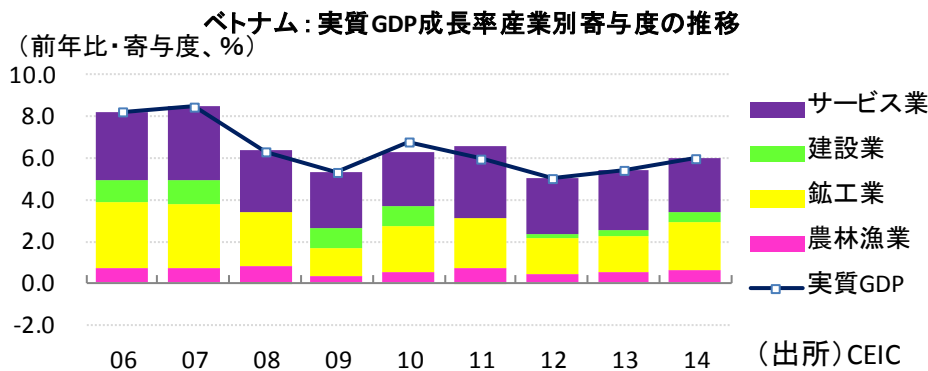
【シンガポールの主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/3Q	14/4Q	14/10月	14/11月	14/12月	15/1月
GDP (yoy)	実質 GDP	3.4	4.4	2.9	5.4	4.6	2.3	2.8	2.1				
	個人消費	3.4	3.6	2.5	3.3	2.8	3.1	1.9	2.2				
	総固定資本形成	8.6	1.1	▲ 1.9	▲ 0.9	▲ 0.7	▲ 2.4	▲ 5.6	1.2				
生産	鉱工業生産 (yoy)	0.3	1.7	2.6	7.1	9.6	1.3	1.7	▲ 1.3	0.1	▲ 2.1	▲ 1.9	
消費	小売売上金額 (yoy)	5.5	▲ 4.3	0.4	▲ 7.8	▲ 4.2	▲ 4.8	5.4	5.6	8.2	6.6	2.6	
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	28.6	37.3	43.5	10.5	8.1	10.5	13.2	11.8	3.3	5.1	3.4	6.4
	輸出 (yoy)	▲ 0.2	0.5	▲ 0.2	3.7	4.8	2.4	▲ 0.1	▲ 7.1	▲ 9.2	▲ 6.7	▲ 5.0	▲ 6.3
	輸入 (yoy)	3.9	▲ 1.8	▲ 1.9	▲ 0.8	4.2	2.7	▲ 4.4	▲ 9.2	▲ 7.5	▲ 14.4	▲ 5.7	▲ 17.6
国際収支	経常収支 (10億ドル)	49.8	54.1	58.8	13.4	12.3	14.2	17.5	14.8				
	外貨準備高 (10億ドル)	259	273	257	273	273	278	266	257	264	261	257	251
雇用	失業率 (季調値, %)	1.9	1.9	2.0	1.8	2.0	2.0	2.0	1.9				
物価	消費者物価 (yoy)	4.6	2.4	1.0	2.0	1.0	2.4	0.9	▲ 0.1	0.1	▲ 0.3	▲ 0.2	
金融	マネーサプライ (M2, %)	7.2	4.3	3.3	4.3	2.0	0.6	1.9	3.3	2.0	2.5	3.3	
	株価指数 (ストリート)	3,167	3,167	3,365	3,167	3,189	3,256	3,277	3,365	3,274	3,351	3,365	3,391
	SIBOR (3M, 期末値, %)	0.38	0.40	0.46	0.40	0.41	0.40	0.41	0.46	0.41	0.43	0.46	0.67
	為替レート (ドル/シンガポールドル)	1.25	1.25	1.27	1.25	1.27	1.25	1.25	1.29	1.27	1.30	1.32	1.34
	為替レート (円/シンガポールドル)	63.8	77.9	83.4	80.3	81.0	81.5	83.0	88.3	84.7	89.6	90.7	88.5

(出所) CEIC (注) yoy=前年比 (%)、輸出入伸び率は米ドル建てベース。

4. ベトナム経済の概況

- ・景気に緩やかながら持ち直しの動きがみえる。
- ・2014年通年（1-12月期）の実質GDP成長率は前年比+6.0%と1-9月期の同+5.6%から0.4%ポイント加速し、前年（同+5.4%）を上回った。四半期ベースでも1-3月期同+5.1%、4-6月期同+5.3%、7-9月期同+6.1%、10-12月期同+7.0%と加速している。輸出の好調を反映し、製造業で生産の拡大が続く一方、物価の安定から消費が堅調とみられ、卸小売業を中心にサービス業も堅調な拡大が続いている。
- ・1月の鉱工業生産は比較対象となる前年の水準が低いことも一因だが、携帯電話（前年比+91.1%）、テレビ（同+88.7%）、鉄鋼（同+71.0%）、自動車（同+69.6%）などを中心に前年比+17.5%と堅調な拡大が続いている。
- ・足元、輸入の伸び率拡大から貿易収支は赤字基調で推移しているが、2014年通年では8億ドルの黒字となった。輸出は電話・同部品（シェア16%、前年比+10.6%）、繊維衣料品（シェア14%、同+16.6%）を中心に同+12.6%と堅調であった。一方、輸入も機械・同部品（シェア16%、同+25.8%）などを中心に同12.3%増加した。なお、シェアは1%に止まるものの2013年の自動車登録料の引き下げの影響が続いているとみられ、完成車の輸入が同+118.3%と急増した。



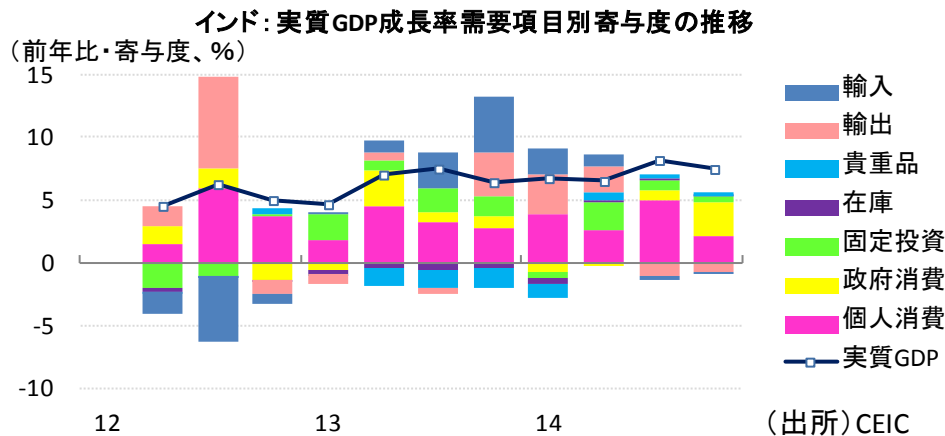
【ベトナムの主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/3Q	14/4Q	14/10月	14/11月	14/12月	15/1月
GDP (yoy) ytd	実質GDP	5.3	5.4	6.0	5.4	5.1	5.2	5.6	6.0				
	農業	2.7	2.7	3.5	2.7	2.4	3.0	3.0	3.5				
	工業・建設	4.5	5.4	7.1	5.4	4.7	5.3	6.4	7.1				
生産	鉱工業生産(yoy)	4.8	5.9	7.7	7.8	5.1	7.6	7.4	9.8	7.9	11.1	9.6	17.5
消費ytd	小売売上(名目、yoy)	16.0	12.6	10.6	12.6	10.2	10.7	11.1	10.6	11.1	11.1	10.6	13.0
輸出入	貿易収支(10億ドル)	2.0	0.4	0.8	0.6	0.7	0.4	0.4	▲ 0.7	▲ 0.0	0.4	▲ 1.2	▲ 0.5
	輸出(yoy)	20.0	16.5	12.6	16.8	12.2	15.7	11.9	10.8	11.5	10.3	10.6	12.6
	輸入(yoy)	7.9	18.2	12.3	19.0	10.4	10.5	13.5	14.6	12.5	16.4	15.2	33.8
国際収支	経常収支(10億ドル)	9.1	9.5		1.7	3.3							
	外貨準備高(10億ドル)	25.2	25.5		25.5	33.3	35.4	36.4					
物価	消費者物価(yoy)	9.3	6.6	4.1	5.9	4.8	4.7	4.3	2.6	3.2	2.6	1.8	0.9
金融	株価指数(VN index)	413.7	504.6	545.6	504.6	591.6	578.1	598.8	545.6	600.8	566.6	545.6	576.1
	プライムレート(翌日物:期末)	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
	為替レート(ドン/ドル)	20,828	20,949	21,159	21,036	21,036	21,106	21,246	21,246	21,246	21,246	21,246	21,458
	為替レート(円/100ドン)	0.38	0.47	0.50	0.48	0.49	0.48	0.49	0.54	0.51	0.55	0.56	0.55

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、ytd=年初来累計ベース。

5. インド経済の概況

- ・景気は緩やかに持ち直している。
- ・10-12 月期の実質 GDP 成長率（新基準）は前年比+7.5%と前期（同+8.2%）に比べて 0.7%ポイント鈍化したものの、7%台の高い水準であった。需要項目別にみると、前年比+31.7%と大幅に拡大した政府消費が成長の牽引役となっているが、GDP の約 6 割を占める個人消費は同+3.5%と前期（同+8.7%）から大幅に鈍化した。また総付加価値ベースで算出される成長率を産業別にみると、全体の約 5 割を占めるサービス業、中でも前年比+20.0%となった公共サービス（シェア 13%）、同+15.9%の金融・不動産（同 21%）が成長に大きく寄与している。モディ新政権の下でインフラ整備への取り組みが始まったことなどがこの要因とみられる。
- ・インド準備銀行（中銀）は 1 月 15 日に 0.25%ポイントの利下げ（8.00%⇒7.75%）を行った。しかし、それ以降、物価の鎮静化、あるいは財政の健全化について進展がないとして 2 月 3 日の政策決定会合では政策金利の据え置き（7.75%）を決めた。



【インドの主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/3Q	14/4Q	14/10月	14/11月	14/12月	15/1月
GDP (yoy)	実質 GDP	4.8	6.4	7.2	6.4	6.7	6.5	8.2	7.5				
	農業生産	1.9	13.8	6.2	16.8	8.7	9.7	7.2	1.6				
	実質 GDP (年度)	4.5	6.9										
	農業生産 (年度)	1.4	12.7										
生産	鉱工業生産(yoy)	0.7	0.6	1.4	▲ 0.8	▲ 0.4	4.5	1.3	0.5	▲ 4.2	3.9	1.7	
消費	新車販売台数(yoy)	9.8	▲ 7.5	0.8	▲ 6.9	▲ 6.4	1.3	7.3	2.6	▲ 7.5	5.4	12.4	3.2
輸出入	貿易収支 (10億 ^{ドル})	▲ 192.9	▲ 150.6	▲ 142.0	▲ 30.4	▲ 28.7	▲ 34.5	▲ 39.5	▲ 39.3	▲ 13.9	▲ 16.0	▲ 9.4	▲ 8.3
	輸出(yoy)	▲ 2.0	6.1	1.5	7.3	▲ 0.7	7.3	1.0	▲ 1.0	▲ 7.3	9.2	▲ 3.8	▲ 11.2
	輸入(yoy)	5.4	▲ 5.0	▲ 0.8	▲ 15.1	▲ 12.1	▲ 6.3	10.1	7.5	3.4	25.6	▲ 4.8	▲ 11.4
国際収支	経常収支 (10億 ^{ドル})	▲ 91.8	▲ 49.2		▲ 4.1	▲ 1.3	▲ 7.9	▲ 10.1					
	外貨準備高 (10億 ^{ドル})	261.7	267.7	295.9	267.7	276.4	289.3	287.4	295.9	290.4	290.8	295.9	303.3
物価	卸売物価(yoy)	7.5	6.3	3.8	7.1	5.4	5.8	3.9	0.5	1.7	▲ 0.2	0.1	▲ 0.4
	消費者物価(yoy)	9.7	10.1	7.2	10.4	8.4	8.1	7.4	5.0	5.5	4.4	5.0	
金融	マネーサプライ (M3, yoy)	11.2	14.8	11.1	14.8	13.2	11.8	12.4	11.1	12.3	11.2	11.1	11.2
	株価指数(BSE Sensitive)	19,427	21,171	27,499	21,171	22,386	25,414	26,631	27,499	27,866	28,694	27,499	29,183
	TB3ヶ月	8.41	8.81	8.65	8.74	8.97	8.69	8.59	8.34	8.44	8.27	8.31	8.23
	為替レート (円/ドル)	53.6	59.0	61.1	61.9	61.5	59.8	60.8	62.2	61.4	62.0	63.3	61.8
	為替レート (円/ルピー)	1.49	1.66	1.74	1.64	1.66	1.70	1.73	1.87	1.81	1.91	1.89	1.91

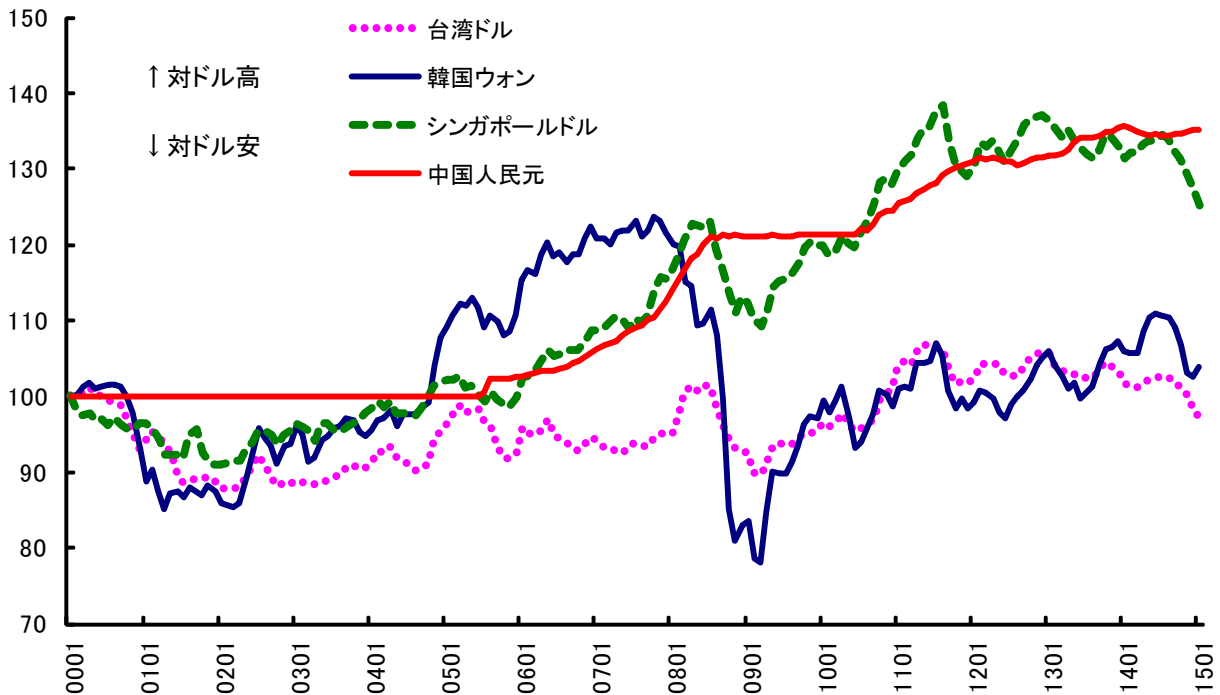
(出所) CEIC (注) yoy=前年比(%)、GDPは年次は2013年から新基準。年度は4月から翌年3月。新車販売は乗用車に限る。

Ⅲ. アジア通貨・株価動向

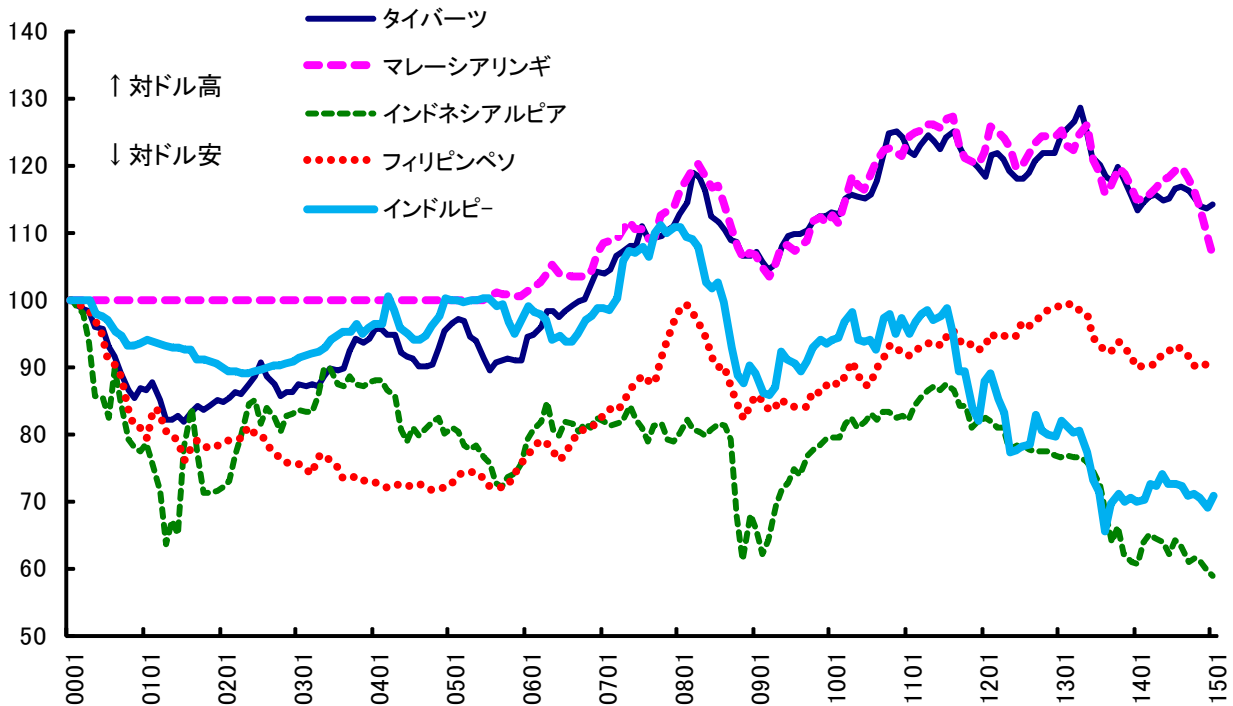
アジア通貨の対ドル相場の推移

<2000 年 1 月 = 100>

(2000年1月=100)

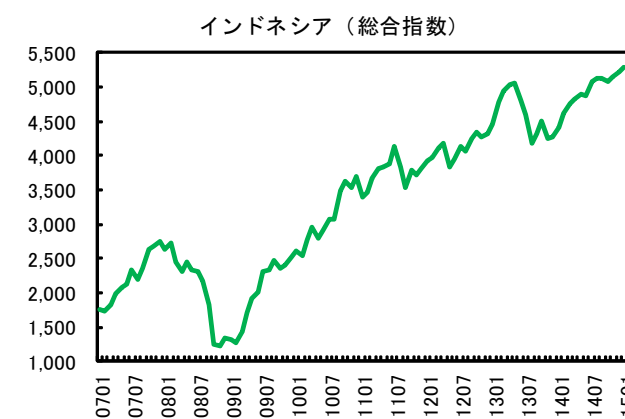
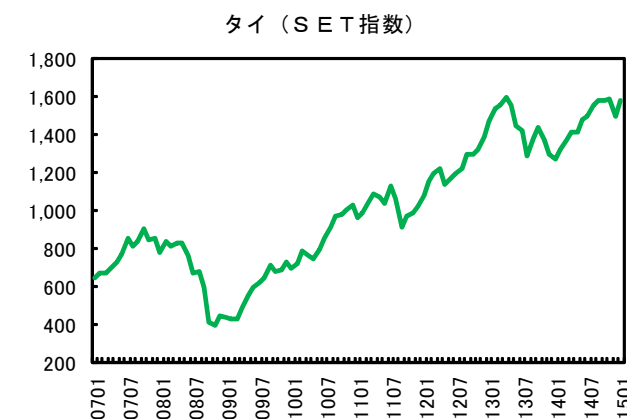
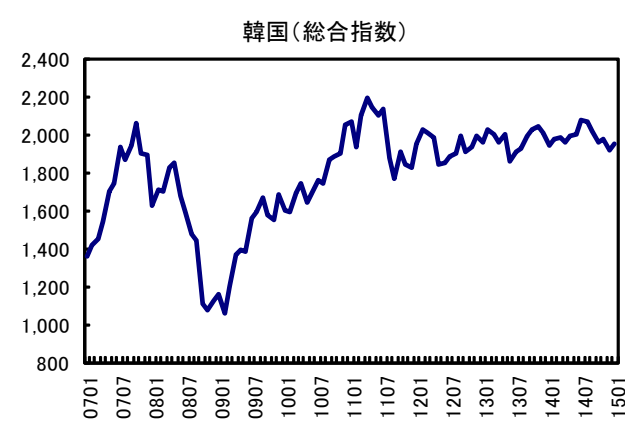
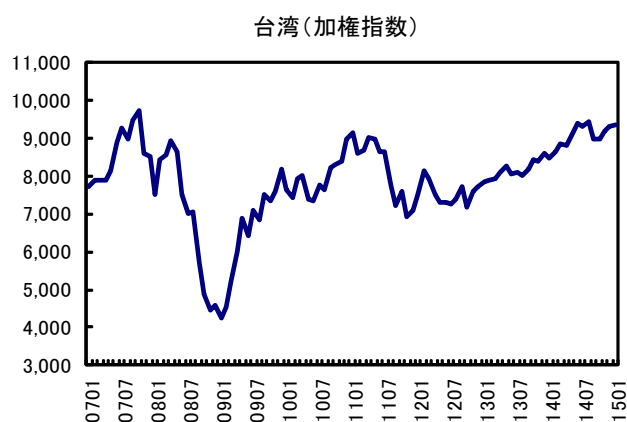
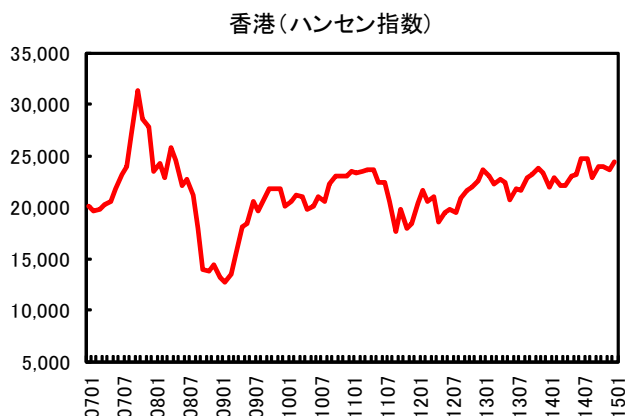
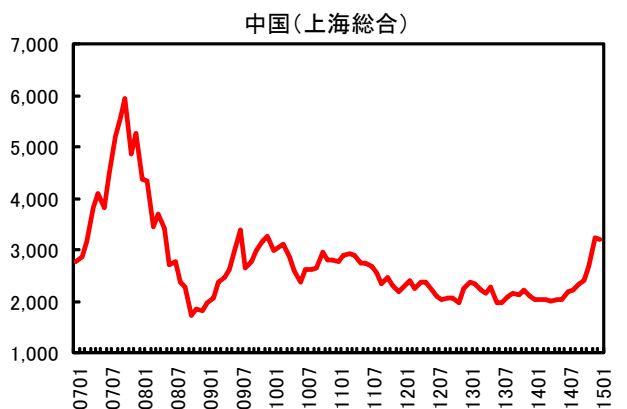


(2000年1月=100)



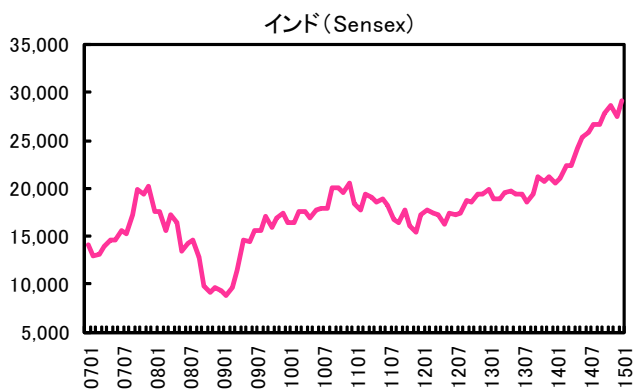
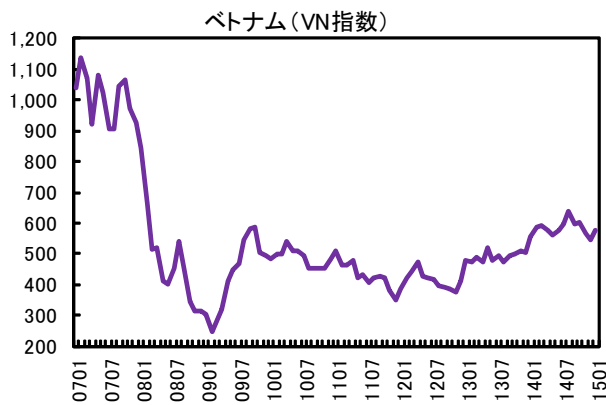
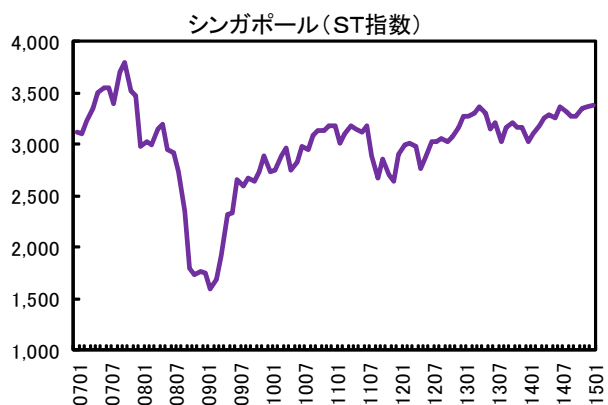
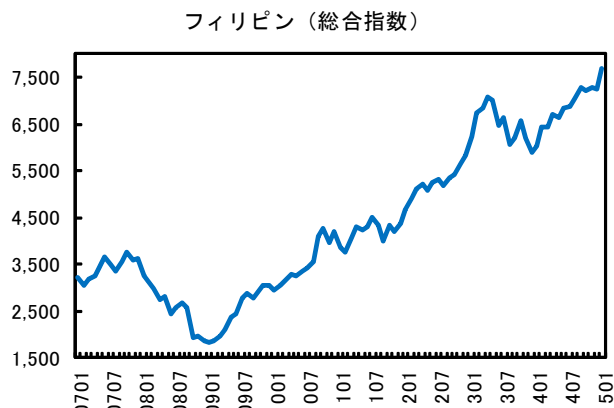
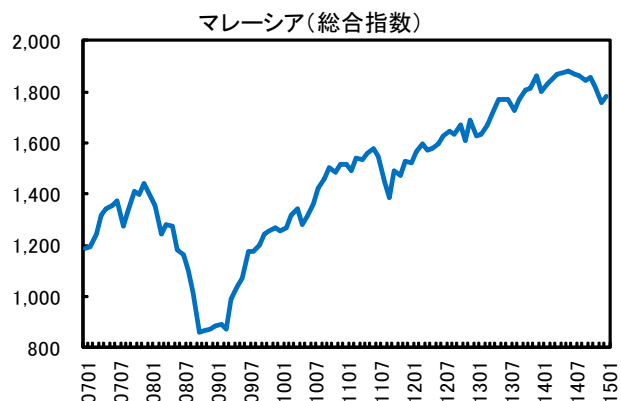
(出所) CEIC

アジア諸国の株価動向（月末値）①



(出所) CEIC

アジア諸国の株価動向（月末値）②



（出所）CEIC

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。当社までご連絡下さい。